



	<p>&lt;指標数値&gt;※比較する指標の数値・単位を記入する</p> <p>○一代前モデル：100kg/h  (販売開始年度) ( 2006年 )  ( 型 式 名 ) ( 2006年 FOOMA-30A )</p> <p>○当該モデル：150kg/h</p> <p>&lt;生産性向上&gt; *以下に数値と算出方法を記入する  年 平 均 : 25 %</p> <p>(例)  2008年販売の当該モデルの指標（単位時間あたりにパン生地を捏ねる量）が150 kg/hであり、2006年販売開始の一代前モデルが100 kg/hである場合、  <math>\{(150-100) \div 100\} \div (2008-2006) = \text{年平均}25\%</math>  の向上となり、「年平均1%以上」を満たすこととな</p>	
該当要件への当非	1 該当	2. 非該当
		✓

- (※1) 販売開始年度はカタログや仕様書等で確認できる、合理的な時期とすること。  
なお、年度とはその年の1月1日から12月31日までの期間をいう。
- (※2) 一定期間は、機械装置：10年以内、工具：5年以内、器具備品：6年以内、建物附属設備：14年以内
- (※3) 新製品であっても、同類の設備がある場合には比較すること。  
比較する装置が全く無い場合は、類似商品が全くないことを事業経過等から明確に証明すること。  
比較指標がなくとも、生産性等の仕様を示す資料は提出すること。

上記の「販売開始要件の確認」、「生産性向上に該当するか」の2つの要件に関し、両方に「1. 該当」に丸印がついた場合のみ、「該当要件への当非」にも「1. 該当」に丸印をつけてください。  
ただし、比較すべき旧モデルが全く無い新製品の場合における丸印のつけ方は次のようにしてください。  
該当要件「販売開始要件の確認」に該当するか・・・「1.該当」に丸印をつけてください  
該当要件「生産性向上に該当するか」に該当するか・・・「1.該当」、「2.非該当」、<比較指標>の3つのいずれにも丸印をつけないでください  
該当要件への当非・・・・・・・・・・・・・・・・・・「1.該当」に丸印をつけてください